

第2号様式の3

令和2年度第3回法務省総合評価委員会審議概要

開催日及び場所	令和3年2月26日(金) 15:00~16:00 法務省大臣官房施設課協議室 令和3年3月12日(金) 14:30~15:30 法務省大臣官房施設課協議室 令和3年3月18日(木) 14:30~15:30 法務省大臣官房施設課協議室		
委員	角田 茂 (大学参事) ※委員長 只木 誠 (大学教授) 遠藤 和義 (大学教授)		
審議対象期間	令和2年8月1日から令和2年11月30日まで		
【工事】		(備考)	
抽出対象案件	総件数 2件		
類 型	技術提案評価型 S型		2件
	施工能力評価型 I型		0件
	施工能力評価型 II型(一般タイプ)		0件
	施工能力評価型 II型(小規模タイプ)		0件
【業務】		(備考)	
抽出対象案件	総件数 6件		
類 型	標準型		0件
	簡易型		6件
委員からの意見・ 質問, それに対する 回答等	意見・質問	回 答	
	別紙のとおり	別紙のとおり	
委員会による意見 の具申又は勧告の 内容	具申又は勧告	回 答	
	なし	なし	

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、持ち回り開催とした。

意 見 ・ 質 問	回 答
<p>1 総合評価落札方式の実施状況について 特になし。</p> <p>2 抽出案件について</p> <p>(1) 大阪医療刑務所新営（建築）工事【技術提案評価型S型】</p> <p>実績の過去年度の設定について、平成17年度以降の場合と平成26年度以降の場合の2つの設定がされているが、どのような基準で設定しているのか。</p> <p>先の入札監視委員会の案件は平成27年度以降の設定だが、本件は平成26年度以降の設定をしている。違いは何か。</p> <p>技術提案書の評価結果の説明を求めている書類があるが、どこかに記載されているか。</p> <p>この回答は、参加した業者すべて確認できるか。</p> <p>（説明請求に対する回答について）入札監視委員会に諮るのは、説明請求に対する回答に対して再度説明請求を行った場合か。</p> <p>(2) 松山刑務所職員宿舍等実施設計業務【簡易型（短縮）】</p> <p>設計業者は地域要件などはなく、全国どここの案件でも落札することが可能なのか。</p> <p>低入札になっているが、資料はないか。</p>	<p>基本的には、同種・類似工事の実績は過去年度15カ年、法務省実績は過去年度5カ年で設定している。（業務は10カ年で設定している。）</p> <p>発注時期が異なっているため、微妙に異なっている。</p> <p>入札説明書に請求できる旨記載している。</p> <p>各業者の技術ノウハウが含まれているため、請求してきた者に対して、その者の評価に対する回答のみ行っている。</p> <p>そのとおりである。回答に対して2回目の説明請求を行った時に入札監視委員会に諮ることになる。</p> <p>そのとおりである。</p> <p>別の手続きのため、資料には入っていない。</p>

<p>低入札調査は、業者を呼んで行っているか。</p>	<p>業者は呼んでおらず、書類を送ってもらい、必要な内容があれば電話で確認している。</p>
<p>低入札調査を断る業者はあるか。</p>	<p>場合によって指名停止になる可能性があるため、断る業者は少ない。</p>
<p>協力事務所が重複していることに気がつかないものなのか。</p>	<p>協力事務所が元請けの業者に伝えなければわからない。</p>
<p>どうして協力事務所が重複してはいけないのか。</p>	<p>総合評価は技術者の能力も評価するが、重複を認めると競争性が失われてしまうため、協力事務所の重複は認めていない。</p>
<p>手持ち業務の件数はどのようにして調べているのか。</p>	<p>本件の場合には手持ち業務件数を3件以上記載しているため確認できた。</p>